

第2章 共通目標

まちづくりを推進するための最も根源的な目標を、
「参画と連携による自立した地域の確立 【協働】」と
「効果的・戦略的な行政経営への転換 【行財政運営】」
 の2つを共通目標として掲げ、この共通目標を施策展開の根底の両輪として
 あらゆる施策を展開していきます。

共通目標 1

参画と連携による自立した地域の確立【協働】

第1節

市民参画によるまちづくりの推進

現状と課題

- ◆ 地方分権の進展、多様化する市民ニーズや複雑化する社会の課題に対応するため、これまでの行政主導のまちづくりから脱却し、市民と行政によるパートナーシップのまちづくりを進めていくことが求められています。明確な役割分担のもと、市民が培ってきた豊かな能力やノウハウをまちづくりへ活用していくことが必要です。

また、市民の意見を政策決定にどのように反映させるかが課題となっています。

- ◆ 広報ひらどや市ホームページ、情報公開制度などにおいて、市民へ市政情報を提供するとともに、各種審議会等の委員の市民公募制度や市政懇談会、「平戸市への提言」など、市民の声を市政に反映させることに努めています。

しかし、各種審議会等の委員への応募や市政懇談会への参加数は少なく、「平戸市への提言」も苦情など偏りがあるのが現状です。

市民と行政が良好なパートナーとしてまちづくりを進めていくためには、市政に関する行政の説明責任を果たすとともに、必要な情報を共有していくことが重要です。情報を市

民へ提供するだけでなく、理解してもらい、まちづくりに関する市民参画の意識をいかに高めるかが課題です。

- ◆ 市民のまちづくりにつながるあらゆる学習活動を「生涯学習」と捉え、人々の学習成果を活かしたまちづくりを進めています。

しかし、これまでは、その多くが自己の充実や生きがいをづくりの範囲を超えきれず、学んだ成果のまちづくりへの活用が不足しています。

これからの生涯学習は、市民がさまざまな活動を行うとともに、一人ひとりの活動を地域で活かし、社会と結びつくことで生きがいを創出し、地域の活性化へつなげていくことが求められています。



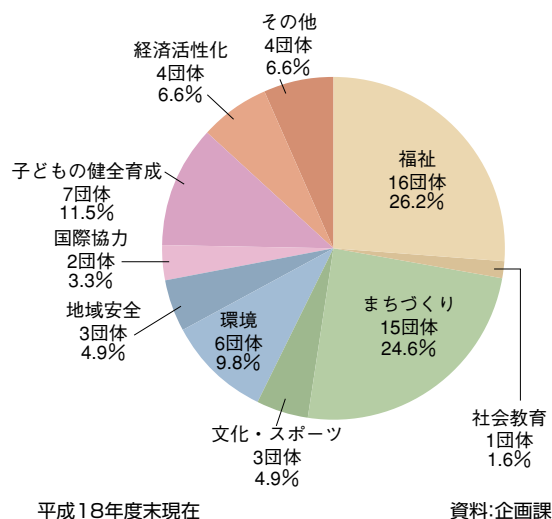
市政懇談会

◆ 人口の減少や少子・高齢化の進行、市民の価値観の多様化等により、コミュニティ意識の希薄化が進み、子育て、高齢者の介護、産業の担い手不足などさまざまな課題が顕在化している中、多種多様な分野において自主的・自発的な市民活動が活発に行われており、平成18年度までにまちづくり団体が30団体、NPO法人が8法人設立されています。

今後も、社会的、時代的背景により、自治会やまちづくり団体、NPO法人を中心とした市民活動がますます活発化し、公益を担う新しい主体としての地位が認知されるものと考えられます。

地域を支えるまちづくりの担い手となる多様なコミュニティ組織と連携を図りながら、「自分たちのまちは自分たちで創る」という自治意識を持ち、主体的な地域活動に取り組んでいく必要があります。

■ボランティア・NPO登録団体の状況



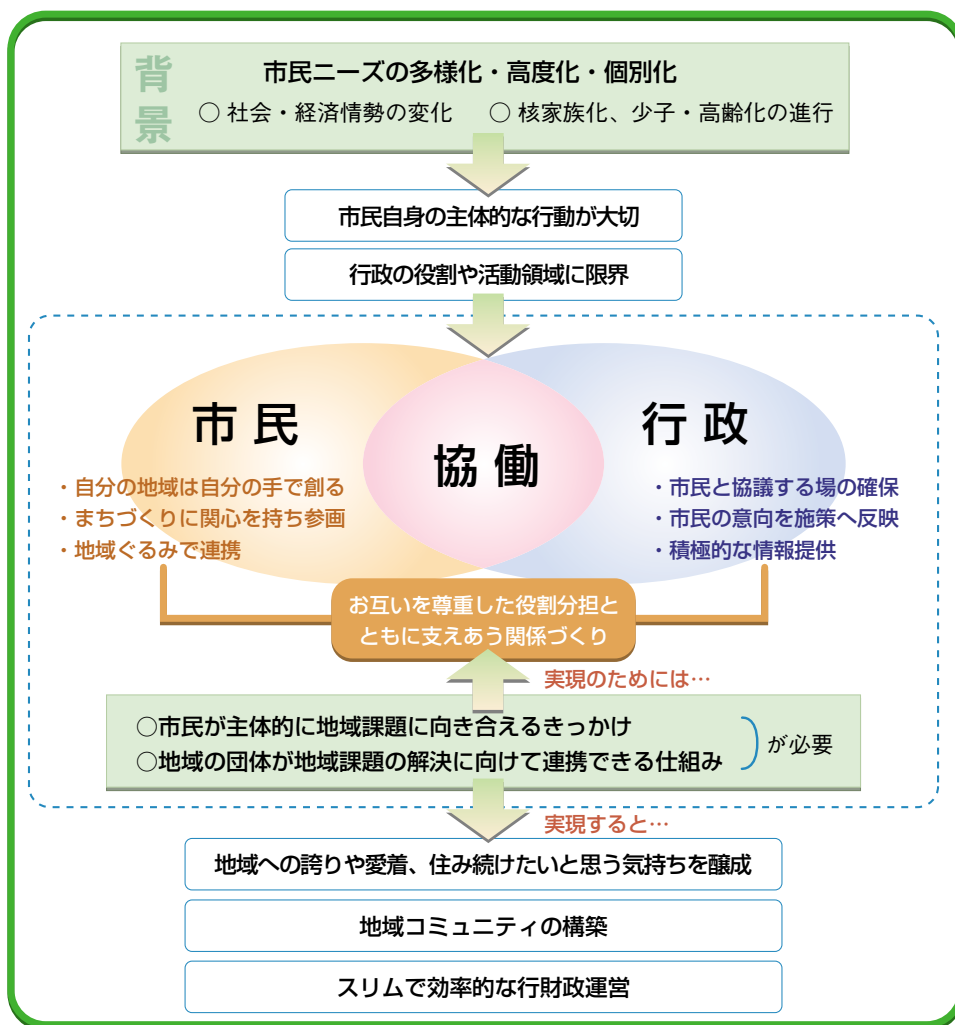
市民の満足度（50項目） ～ 市民アンケートから ～

項目の名称	満足度	項目の名称	満足度
市政に関する情報提供の場と機会の充実に関すること	42.0%	市政への住民意向の反映に関すること	29.2%
生涯学習の充実に関すること	72.1%	市民団体やNPO法人などによる活動に関すること	57.7%
町内会や子ども会などの地域活動に関すること	67.8%		

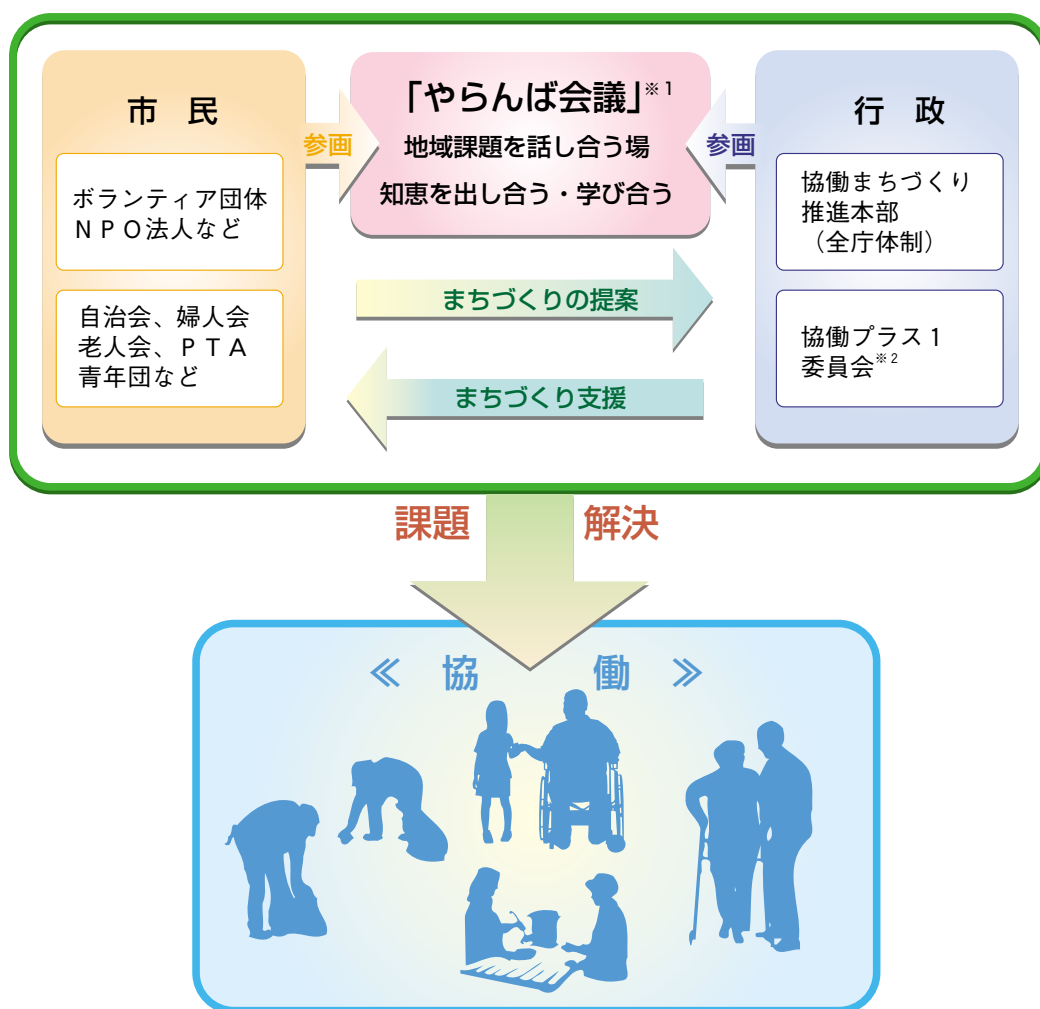
目標・方針

市民と行政が対話し、市民が積極的に市政に参画することにより、市民・地域主体のまちづくりを目指します。

■ 協働によるまちづくりイメージ



■ 協働によるまちづくりの進め方



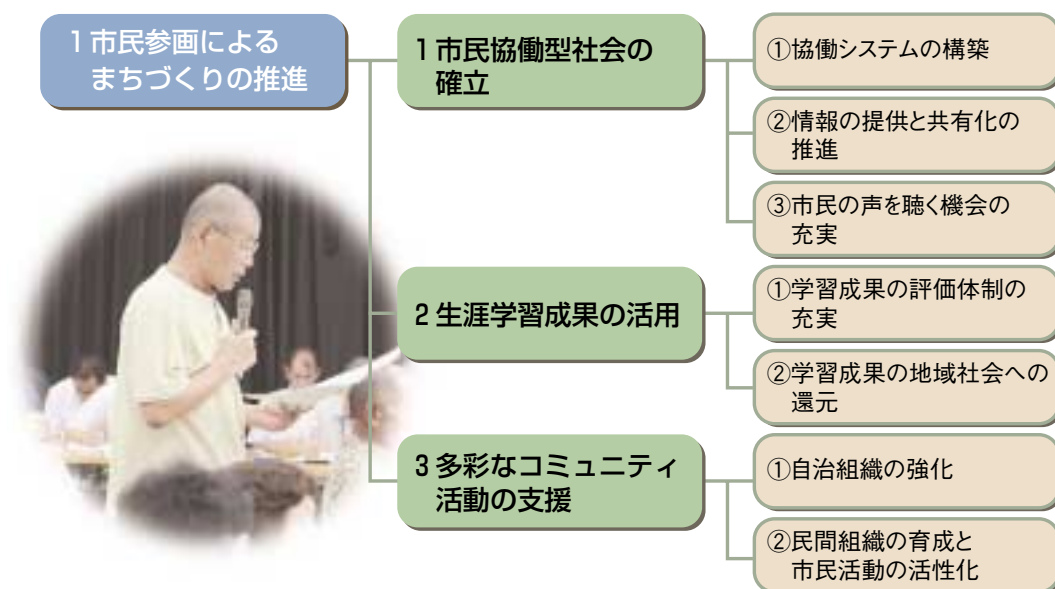
※1 やらんば会議

市民と行政が一体となって、まちづくりに関する地域の課題・問題点の解決に向けて話し合う会議

※2 協働プラス1委員会

市職員が、仕事以外に一つまちづくり活動に参画することを目的に委員を公募し、組織する委員会

施策体系



施策の内容

1-1-1 市民協働型社会の確立

① 協働システムの構築

- ◆ 市民と行政が対話を深めることにより、お互いを理解し、尊重しながら、それぞれの役割と責任を明確にし、連携・協力していく、平戸市独自の協働システムを構築します。
- ◆ 協働に関する実施計画を策定するとともに、モデル事業の募集による協働化事業を実施します。
- ◆ 市民がまちづくり活動を展開する上での課題を解決するため、市民と行政が協議する場を設置するなど、市民自らが積極的にまち

づくりの立案、計画、実践するための自立した体制づくりを支援します。

- ◆ 各種審議会への公募委員の積極的な登用やまちづくりに関するワークショップの開催など、市民の意向を施策に反映させる仕組みを充実します。
- ◆ 市民がまちづくりへ参画しやすい環境を整え、市民が互いに協力し、連携しあう仕組みづくりに努めます。
- ◆ 市民一人ひとりが、生き生きと暮らし、地域を支える原動力となるために、「市民1

ボランティア活動」^{*1}に取り組む運動を推進します。

② 情報の提供と共有化の推進

- ◆ 開かれた行政の実現を目指し、広報ひらどや市ホームページなどの充実により、市民のまちづくりへの意欲を喚起する情報を提供します。
- ◆ 市政情報について、市民が関心を持てるように分かりやすい内容で的確に提供します。
- ◆ 個人情報に配慮しながら情報公開制度を充実し、市政に対する市民の信頼獲得に努めます。

③ 市民の声を聴く機会の充実

- ◆ 市政懇談会や「平戸市への提言」、定期的なアンケート、パブリックコメント^{*2}などを実施し、市政に対する市民の意見を幅広く聴く機会を充実します。
- ◆ 自治会や福祉・社会教育関係団体、まちづくり団体など市民がまちづくりに関し集う場や機会に職員が積極的に参画します。

1-1-2 生涯学習成果の活用

① 学習成果の評価体制の充実

- ◆ 学習意欲の増進のため、公民館まつりや文化まつりなどを積極的に開催し、学習成果の発表機会を確保します。
- ◆ 学習成果の適切な評価に向けて、まちづくり表彰制度や「生涯学習パスポート」^{*3}を推進し、評価体制の充実に努めます。

② 学習成果の地域社会への還元

- ◆ 生涯学習が自己の充実や生きがいつくりの範囲に納まるのではなく、習得した知識や技術など学んだ成果を地域へ還元することで、地域活性化やまちづくりに活かせる仕組みづくりに努めます。
- ◆ 公民館の各種講座・教室の内容を充実するとともに、学習者を講師として登用するなど、学習の成果をさまざまな分野で活かせる機会の提供に努めます。



三味線教室

※1 市民1 ボランティア活動

市民力の向上を図るため、市民一人ひとりが、家庭や職業としての役割の他に一つ以上実施するボランティア活動

※2 パブリックコメント

公衆の意見。行政が政策・制度等を決定する際に、原案を公表し、市民の意見を求め、それを考慮して決定する制度

※3 生涯学習パスポート

市民一人ひとりの学習成果やボランティア活動を「生涯学習パスポート」に記録することにより、自分自身で評価を行い、自己の向上を確認し、次の学習計画を立てるためのもの。また、市民の学習意欲の向上及びボランティア活動の推進のため、一定のポイントに達した場合、市が奨励証として表彰する。

1-1-3 多彩なコミュニティ活動の支援

① 自治組織の強化

- ◆ 地域が主体で動き、行政が住民自治を支援するという、自立した自治組織の体制づくりを支援します。
- ◆ 地域福祉、環境保全、道路管理、防災・防火・防犯、地域固有の歴史文化等の伝承など地域に密着したものについては、自治会が主体的に活動することで問題解決を図っていきます。
- ◆ 自治連合協議会や地域協議会、地域審議会※¹等と連携を図りながら、市民の積極的なまちづくりへの参画を促進していきます。
- ◆ 自治活動の拠点となる自治公民館の整備に対する支援を行うとともに、地域イベントなどの充実を図ります。
- ◆ 地域社会の連帯感を深めるため、子ども会、青年会、婦人会、老人会相互の交流促進や各地域固有の伝統行事・文化の継承等を通じて、コミュニティ意識の高揚に努めます。

② 民間組織の育成と市民活動の活性化

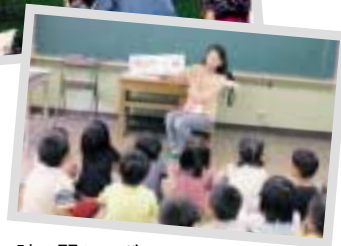
- ◆ まちづくりに関するあらゆる情報を提供し、市民意識の向上を図るとともに、ボランティア活動などに積極的に参画する仕組みづくりを整備します。
- ◆ 先進的な協働によるまちづくりを実践している地域をモデル地域として紹介し、他の地域へ

の普及促進を図ります。

- ◆ NPO法人やボランティア団体との協働、ボランティア団体相互の連携強化を推進し、団体の育成・支援に努めます。
- ◆ 情報の共有と発信の拠点として、公共の空き施設の提供や拠点機能の充実を図ります。



住民説明会



読み聞かせボランティア

※ 1 地域協議会・地域審議会

合併による行政区域の拡大に伴い、合併前の区域における地域住民の声を行政に反映させるため、行政からの諮問事項に対する答申や地域の課題について市長に対して意見を述べることでできる組織。旧生月町、旧田平町、旧大島村の区域には地域協議会を旧平戸市の区域には地域審議会を設置している。

やらんば指標（成果指標）

指標の名称	年度	現況値	中間目標値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)
市民と進める協働事業数	H19	50件	134件	200件
市ホームページへのアクセス数	H18	247,398件	300,000件	360,000件
市政懇談会参加者数	H19	534人	834人	1,500人
まちづくり活動への市民の参加度	H18	14.6%	30.0%	50.0%
ボランティア団体数	H19	61団体	80団体	100団体
NPO法人認証数	H19	8法人	15法人	20法人

みんなのまちをよくするために・・・

- まちづくりの主役であることを自覚し、まちづくりに関する活動へ積極的に参画しましょう。
- 市政懇談会などへ積極的に参加し、市政運営に意見・アイデアを提供しましょう。
- 生涯学習で学んだ知識、経験、技術を活かし、主体的にまちづくり活動に参画しましょう。
- ボランティア活動やNPO活動等の地域を支える活動に積極的に参加しましょう。
- 地域に関心を持ち、自分の役割を考え、地域の人と連携を深めながら、積極的に自治活動に参加しましょう。